

## 「チームオレンジ」立ち上げへ向けた認知症キャラバンメイト&サポーターの活用

### 認知症施策推進大綱【認知症の本人やその家族の視点】

「共生」・・・認知症の本人が、周囲や地域の理解と協力の下で、住み慣れた地域で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることが出来る社会の醸成

「予防」・・・認知症にならないという意味ではなく、認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにする予防支援

認知症キャラバンメイト数	152名
認知症サポーター数	8,667名

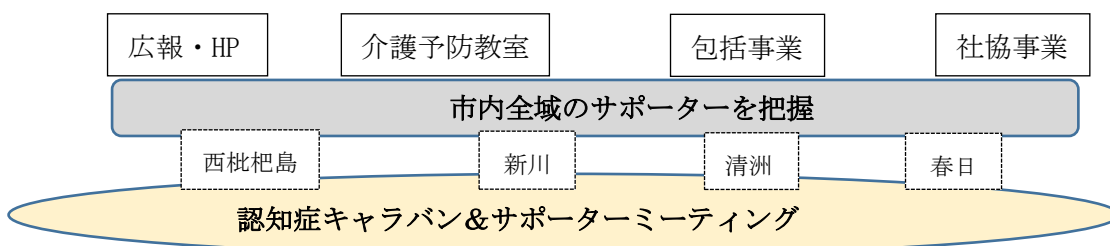
既存のサポーター等を有効活用

### ■「共生」と「予防」のためのチームオレンジの立ち上げ

「チームオレンジ」・・・認知症サポーターの近隣チームによる認知症の本人や家族に対する生活面の早期からの支援を行う。認知症の本人もメンバーとして参加することが望まれる。

**STEP1** 認知症サポーターにおいては、本市は定期的に養成講座を開催し、市内に相当数のサポーターがおり、その方に対し、活動の場を提供出来ていない状況がある。

まずは、サポーター等を把握するところからスタート  
⇒市の施策の共有・目標を達成するために話合う場を市が提供する。

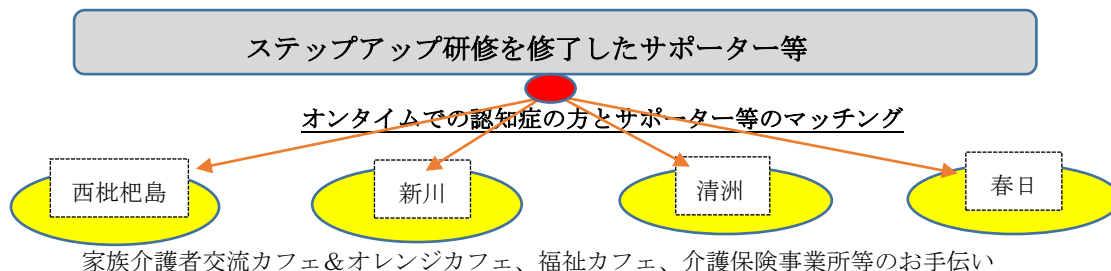


**STEP2** サポーター等の中には、日常生活の中での見守り以外にも、さらに活動を充実させ、認知症の方の役立つ活動をしたと考えている方もいると想定される。

意欲のあるサポーター等のリスト化

ステップアップ研修・・・チームオレンジの趣旨・活動のための知識・対応スキルの習得

**STEP3** 実際に認知症の方と接し、自分に出来ることは何かを考えてもらうため、各地区で行われている福祉カフェ・家族介護者交流カフェ&オレンジカフェを活用する。また、地域のカフェなどキャラバンメイトやサポーターが在籍している既存の団体へ認知症カフェとしての運営は可能か、働きかけを行う。



### ■「チームオレンジ」立ち上げに向けた今後の事業計画

	取組内容		時期
主体	市	認知症キャラバンメイト・サポーター	
STEP1	広報・HP・各種事業におけるキャラバンメイト&サポーター等への周知 「認知症キャラバンメイト&サポーターミーティング」開催	「認知症キャラバンメイト&サポーターミーティング」参加	6月
STEP2	協力できるキャラバンメイト、サポーターのリスト化	チームオレンジ立ち上げに向けての知識、対応スキルの習得	6月
STEP3	定期的なミーティングの実施、既存団体への働きかけ	既存の団体（カフェ）への参加	11月から
STEP4	フォローアップ研修の開催 チームオレンジの立ち上げに向けた研修等	フォローアップ研修への参加	2月

### ■その他の取組

項目	内容
認知症サポーター養成講座、介護予防出前講座の開催	市民公開講座（9月8日） 寿会、職域への出前講座（随時）
認知症サポーターステップアップ講座によるサポーターの育成。	STEP1 から STEP4 の実施
チームオレンジとして活動するための基盤づくり	既存拠点活用タイプ 拠点を設置しない個別支援型タイプ
パトロール DOGS 事業の啓発	認知症サポーター養成講座修了者への事業啓発
オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催	圏域毎に開催（月1回）
福祉実践教室の実施	小学生、中学生への認知症理解の促進
認知症理解の啓発活動	9月アルツハイマー月間の啓発 ・ティッシュ配布 ・ステップアップ講座受講者にはサポーターグッズ（バッジ等）の配布
地域における見守り体制の構築（案）※1	「認知症見守り QR」による見守り ・シール ・キーホルダー

※1 QRコードを読み取るだけで24時間365日、自動的に家族等に迅速に連絡が取れる。